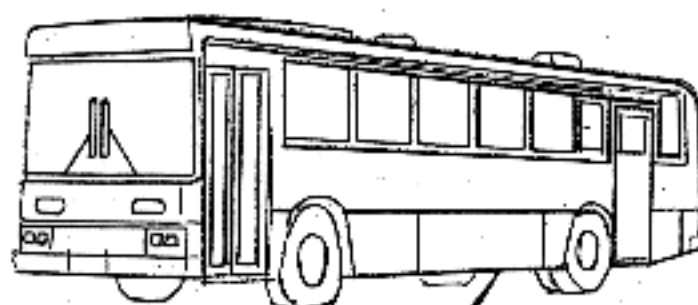


改善箇所説明図



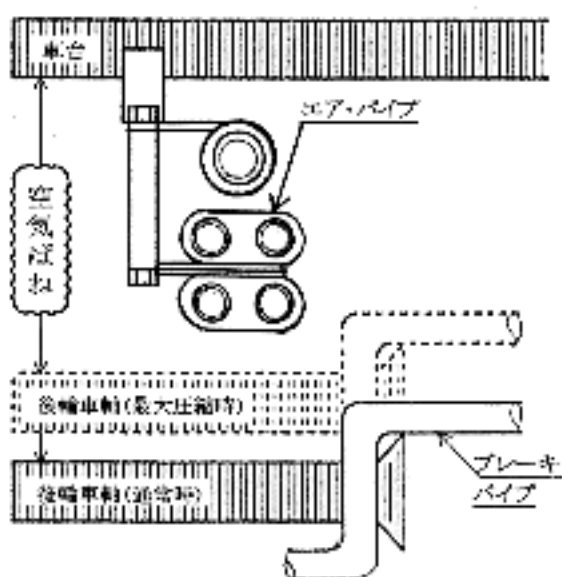
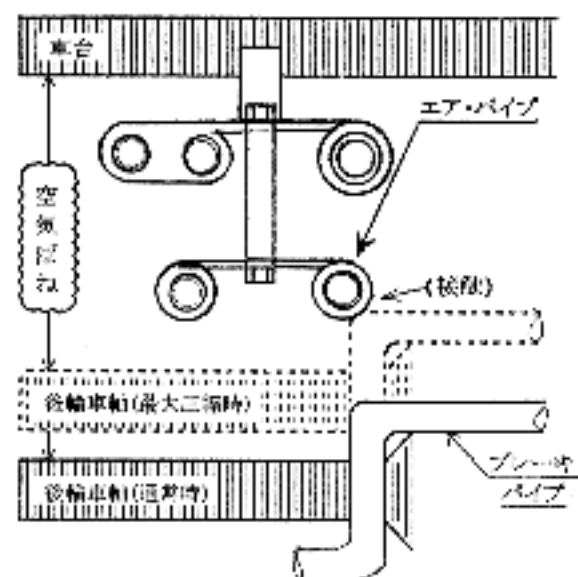
車両前方

基準不適合発生箇所

制動装置において、緩衝装置のエア・パイプの床下配管が不適切なため、走行条件によっては右後輪ブレーキ・パイプの一部が当該エア・パイプに接触することがあり、そのままの状態で使用が続けると、最悪の場合、当該ブレーキ・パイプが損傷し、ブレーキ・オイルが漏れて制動力不足になるおそれがある。

改善前

改善後



(右) ——— (車両前方より見る) ——— (中心)

(右) ——— (車両前方より見る) ——— (中心)

改修の内容: 全車更、エア・パイプ保持金具の取付位置を当該ブレーキ・パイプが接触しないように変更する。